

厚生労働省
群馬労働局発表
令和6年3月1日

【照会先】
群馬労働局労働基準部健康安全課
課長 芳賀 裕
地方産業安全専門官 鈴木 淳
(電話) 027-896-4736

報道関係者 各位

「冬こそ STOP! 転倒災害」 ～ 冬季の転倒災害防止に引き続き取り組みます ～

群馬労働局（局長 加藤博人）は、1月から3月を「冬季転倒災害防止重点取組期間」と位置付け、『冬こそ STOP! 転倒災害』をキャッチフレーズとして、凍結・積雪による冬季の転倒災害の防止に重点的に取り組んでいます。

群馬労働局では、平成28年から「STOP! 転倒災害プロジェクト」を実施しています。

凍結・積雪など天候（気象条件）の影響が生じやすい冬季は、特に転倒災害が多発しやすい上、この時期は突然の寒気流入による路面凍結等で転倒災害を引き起こす懸念もあることから、事業者に対して、重点取組期間の残り1か月についても、油断なく以下の対策に継続して取り組むよう呼び掛けてまいります。

＜ 冬季における転倒災害防止対策 ＞

【取組事項】

- (1) 気象情報の活用によるリスク低減の実施
 - ① 大雪、低温に関する気象情報を迅速に把握する体制の構築
 - ② 警報・注意報発令時等の対応マニュアルの作成、関係者への周知
 - ③ 気象状況に応じた作業計画等の見直し
- (2) 通路、作業場所の凍結等による危険防止の徹底
 - ① 屋外通路や駐車場における除雪、融雪剤の散布による安全通路の確保
 - ② 事務所への入室時における靴裏の雪、水分の除去、凍結のおそれのある屋内の通路、作業場への温風機の設置等による凍結防止策の実施
 - ③ 屋外通路や駐車場における転倒災害のリスクに応じた「危険マップ」の作成、関係者への周知
 - ④ 凍結した路面、除雪機械通過後の路面等における荷物の運搬方法、作業方法の見直し
 - ⑤ 凍結した路面や凍結のおそれのある場所（屋外通路や駐車場等）における転倒防止のための滑りにくい靴の着用の勧奨

（「群馬労働局 STOP! 転倒災害プロジェクト実施要綱」より）

また、転倒災害のおよそ3分の2は「骨折」を伴う結果となっているところ、休業期間が長期化して業務への影響が生じやすい災害であり、特に高年齢労働者においては、より長期間の休業が必要となるケースも散見されるため、事業場において、リスク低減をはじめとした転倒災害の未然防止に向けた積極的取組を実施していただくよう、引き続き呼び掛けてまいります。

【重点取組期間中に発生した災害事例】

- ・ 冷え込みで凍結状態となっていた路面に新雪が降り、路面状態が確認できない中で、足を滑らせて転倒し、足を骨折した（70代男性、休業2か月）
- ・ 事務所から工場へ部品を取りに行く途中、凍結した路面に足を取られて転倒し、足首を骨折した（50代男性、休業1週間）
- ・ 駐車場に向かうため就業場所の建物から出たところ、凍結路面で足元が滑って転倒した際に、地面に手首を強打して、骨折した（60代女性、休業1か月）

添付資料

資料1 「群馬労働局管内における転倒災害発生状況」

資料2 「冬こそSTOP！ 転倒災害」

資料3 「STOP！ 転倒災害」

参考1 「令和5年 労働者死傷病報告受理件数表」（令和6年1月末現在）

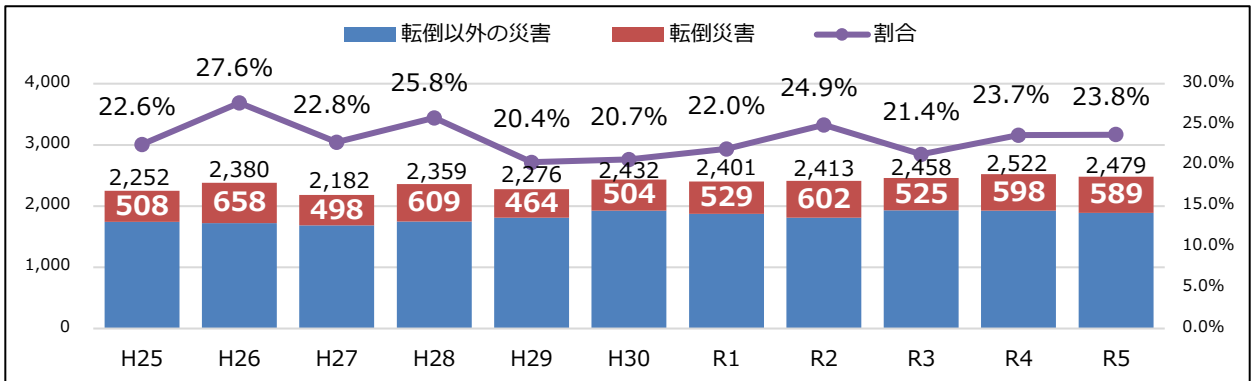
参考2 「令和5年 死亡災害事例」（令和6年1月末現在）

群馬労働局管内における転倒災害発生状況

1 年別推移

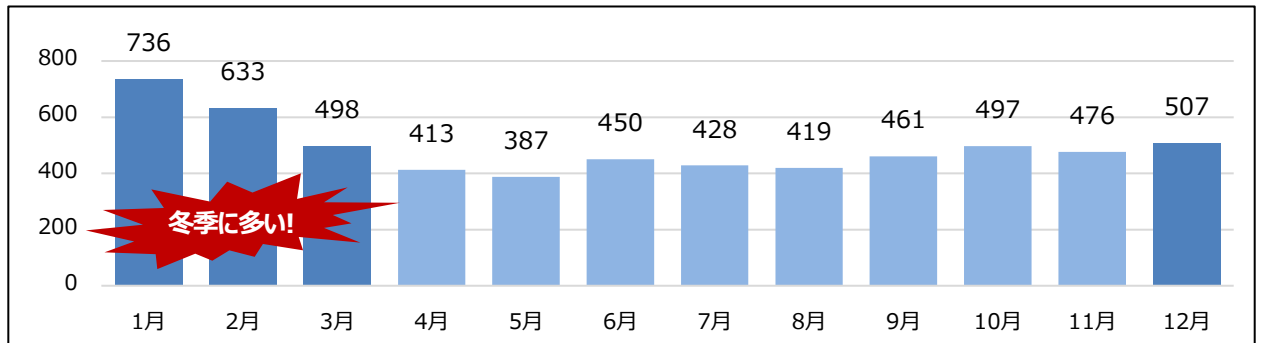
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
転倒災害	508	658	498	609	464	504	529	602	525	598	589
災害総数	2,252	2,380	2,182	2,359	2,276	2,432	2,401	2,413	2,458	2,522	2,479
転倒災害の占める割合	22.6%	27.6%	22.8%	25.8%	20.4%	20.7%	22.0%	24.9%	21.4%	23.7%	23.8%

※ 総計は新型コロナウイルス感染症によるものを除く



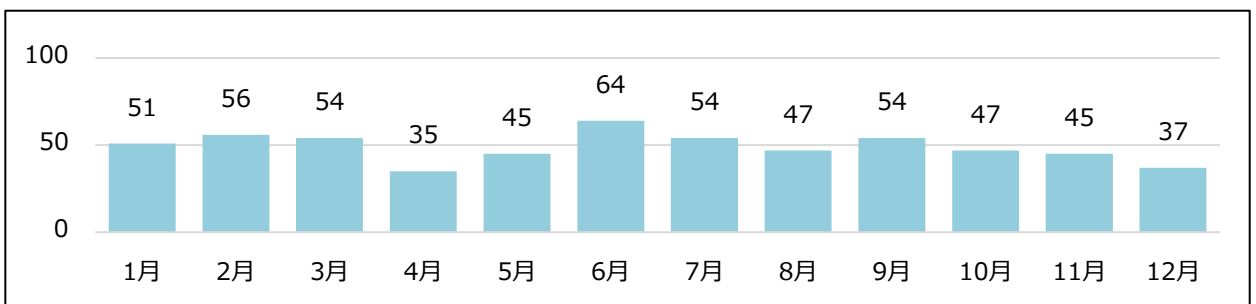
2 転倒災害月別発生状況（平成25年～令和4年の合計）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
死傷者数	736	633	498	413	387	450	428	419	461	497	476	507



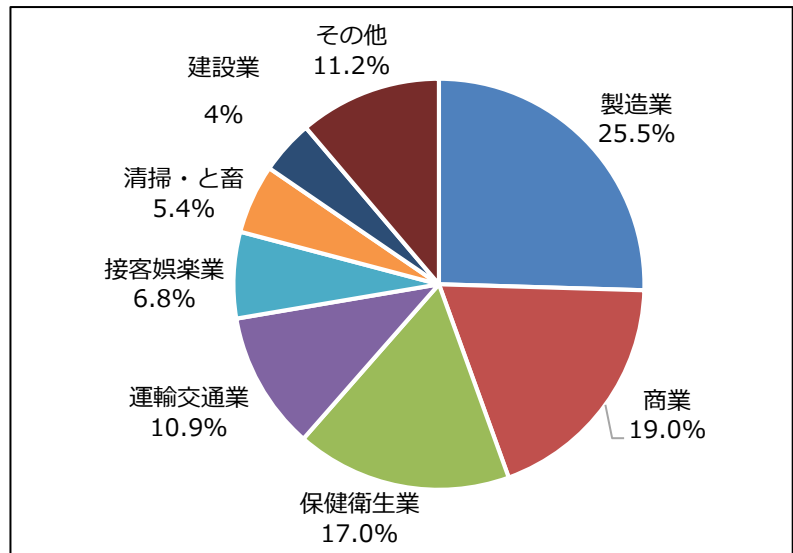
【参考】 発生月別（令和5年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
死傷者数	51	56	54	35	45	64	54	47	54	47	45	37



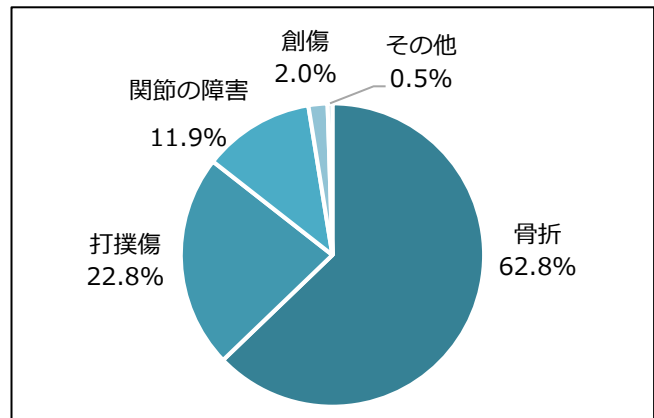
3 業種別（令和5年）

	死傷者数
製造業	150
商業	112
保健衛生業	100
運輸交通業	64
接客娯楽業	40
清掃・と畜	32
建設業	25
その他	66
総計	589



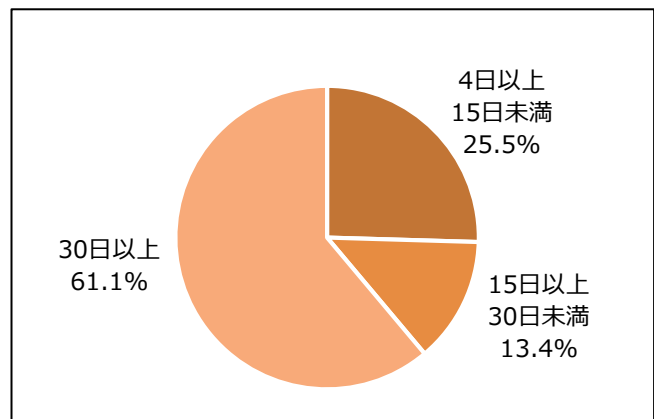
4 傷病性質別（令和5年）

	総計
骨折	370
打撲傷 (皮膚の剥離、擦過傷、挫傷及び血腫を含む)	134
関節の障害 (捻挫、亜脱臼及び転位を含む)	70
創傷 (切創、裂創、刺創及び併発減傷を含む)	12
その他	3
総計	589



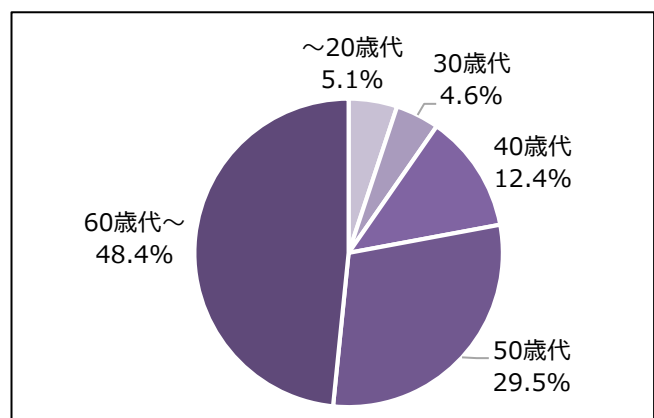
5 休業日数別（令和5年）

	総計
4日以上15日未満	150
15日以上30日未満	79
30日以上	360
総計	589



6 年齢別（令和5年）

	総計
～20歳代	30
30歳代	27
40歳代	73
50歳代	174
60歳代～	285
総計	589



冬こそ!

STOP!



転倒災害

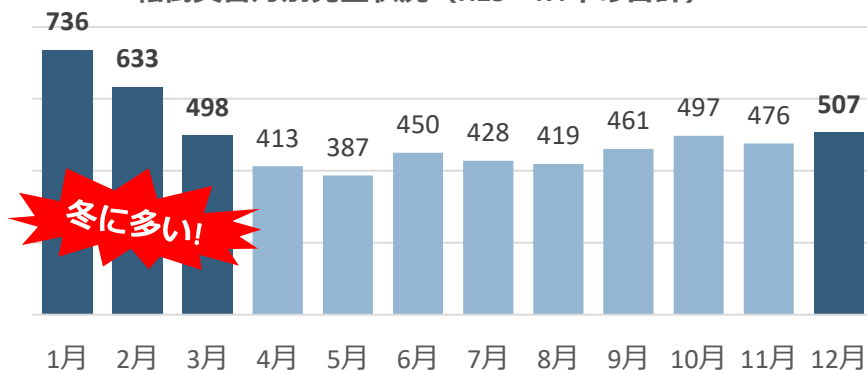
1月～3月は冬季転倒災害防止重点取組期間です

転倒災害は冬季に多く発生しています。

降雨、降雪後の凍結路面に注意して、靴底の雪や氷はよく落としてから部屋に入りましょう。

濡れた通路などは早めに拭き取りましょう!!

転倒災害月別発生状況 (H25～R4年の合計)



資料：労働者死傷病報告

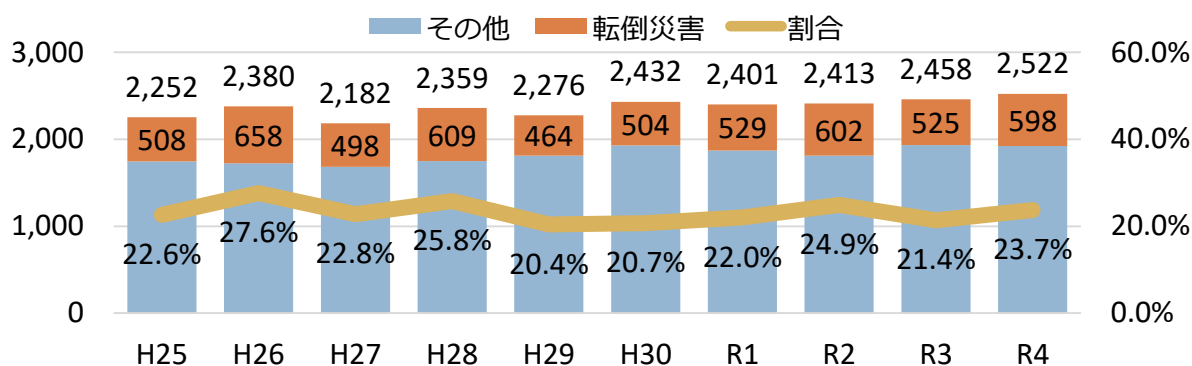


～転倒災害防止の5カ条～

- 👋 ポケットから手を出して歩こう!
- 👣 雪道や凍った道は小股で歩こう!
- 👟 路面や床面に合った靴を履こう!
- 🕒 時間に余裕を持って行動しよう!
- 💪 日頃から足腰を鍛えよう!

転倒災害防止のための取り組みを!!

転倒災害発生状況の年別推移



資料：労働者死傷病報告

月別の転倒災害発生状況は、特に**1月から3月**が多く発生しています（表面グラフ参照）。

冬季は、**天候（気象条件）**が大きく影響していることから、積雪や凍結の前に、転倒のおそれのある個所の事前確認や労働者に対する注意喚起、天候に応じた対応も含めた転倒災害防止対策を、労使が一体となって取り組みましょう。

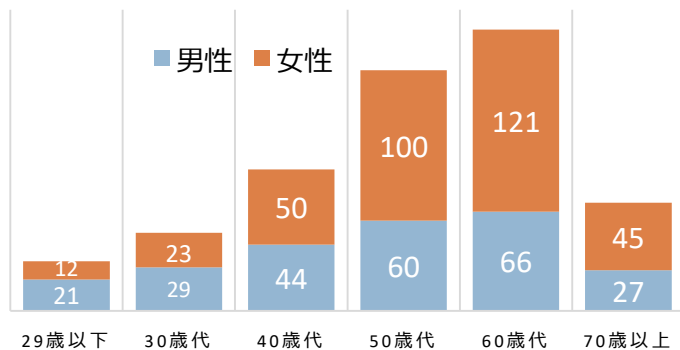
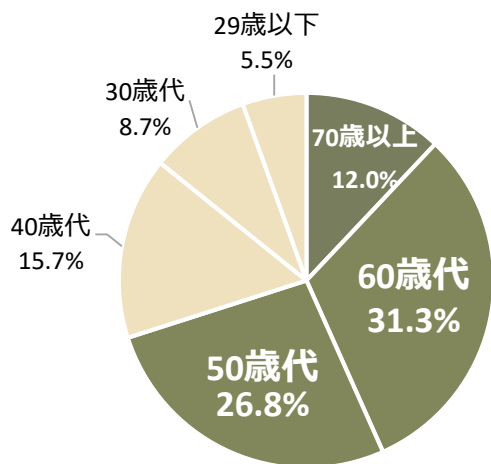


高年齢労働者の転倒災害をなくそう!

「転倒災害」は50歳以上が全体の7割以上を占めています。

これは加齢による筋力や平衡感覚、視力の低下などが考えられます。

また、一般的に女性は、男性より筋肉量や骨量が少ないとされ、転倒によるケガのリスクが高くなっています。



転倒災害における年代別労働災害発生状況（令和4年）
資料：労働者死傷病報告

転倒災害における年代別性別労働災害発生状況（令和4年）
資料：労働者死傷病報告

参考

群馬労働局ホームページ「STOP!転倒災害プロジェクト」

https://jsite.mhlw.go.jp/gunma-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzan_eisei/anzan_tentou_project2015.html



群馬労働局
労働基準部 健康安全課

〒371-8567 群馬県前橋市大手町2-3-1

Tel 027-896-4736 fax 027-896-2111

<https://jsite.mhlw.go.jp/gunma-roudoukyoku/home.html>

仕事中の 転倒災害を なくそう!!

転倒災害は、すべての職場で発生する可能性があります。

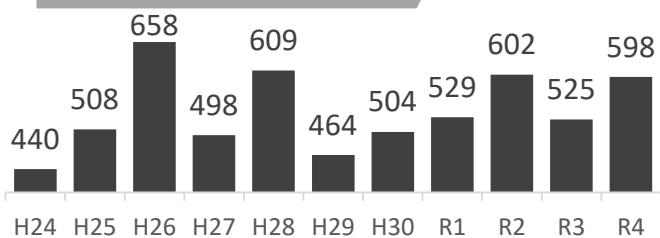
職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。

たかが「転倒」と侮るなかれ！

あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて

転倒災害防止対策に取り組み、「安全・安心な職場づくり」を進めましょう！

転倒災害発生状況の推移



転倒リスク・骨折リスク

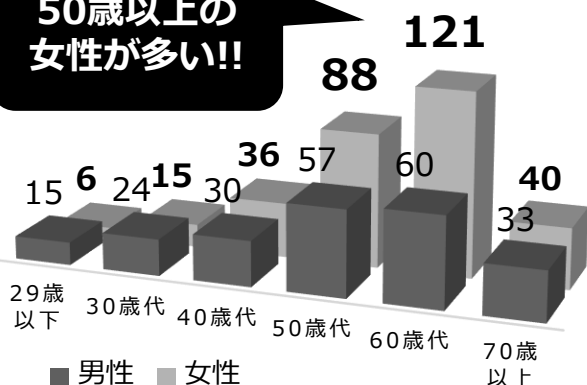
一般に加齢とともに身体機能が低下し、転倒しやすくなります

特に女性は、加齢とともに骨折のリスクが増大します
(骨粗しょう症など)

たった一度の転倒で寝たきりになることも…

性別・年齢別転倒災害発生状況

50歳以上の女性が多い!!



転倒災害はなぜ起こる？

WHY?



主な原因



チェックしてみましょう!!
NOの項目は改善しましょう!!

つまづく

- 何もないところでつまづく
- 物につまづく
- 通路の凸凹につまづく
- 車止めにつまづく
- 配線コードにつまづく

すべる

- 凍結した通路ですべる
- 水・油・洗剤などですべる

反動



- 足がもつれる
- バランスを崩した
- 人を避けようとして転ぶ
- 焦っていた
- 急いでいた

チェック項目	YES	NO
通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

転倒災害は防げる災害です

しっかりと対策を講じて、転倒災害を防止しましょう!!



- ・整理
- ・整頓
- ・清掃
- ・清潔

4Sを徹底しよう!



転倒危険場所を「見える化」しよう!



日頃から足腰を鍛えよう!



転倒しにくい作業方法を実施しよう!



時間に余裕を持って行動しよう!

令和 5 年 労働者死傷病報告受理件数表

令和 6 年 1 月 末 現在
群 馬 労 働 局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		125	1 269	52	224	16	48	8	1 742	3 740	-2 2
	食料品製造業	51	98	10	45	8	12	2	226	232	-6
建 設 業		3 63	1 84	2 26	1 41		1 11	1 13	9 246	1 219	8 27
	木造家屋等建築工事業	4	25	3		1	2	2	37	17	20
運 輸 交 通 業		47	128	1 14	1 109	10	7	4	2 319		2 11
	道路貨物運送業	38	121	1 12	1 106	7	7	3	2 294		2 294
林 業		4	1	4	2	5	4	6	1 26	1 20	6
小 売 業		52	1 129	29	60	10	9	5	1 294		1 22
社会福祉施設		65	83	27	32	11	10	5	233	210	23
接 客 娯 楽 業		20	37	8	28	17	3	17	130	149	-19
	飲食店	12	26	6	20	2	2		68	57	11
上記以外の事業		2 115	1 196	25	96	23	16	18	3 489	1 488	2 1
	清掃・と畜業	19	1 36	3	20	4	5	7	1 94		1 -5
計		5 491	4 927	3 185	2 592	100	2 108	1 76	17 2,479	6 2,406	11 73
	前年同期	501	2 921	152	2 508	2 146	113	65	6 2,406		
増 減		5 -10	2 6	3 33	3 84	-2 -46	2 -5	1 11	11 73		

災害の種類別／署別		高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
事故の 型別	墜落・転落	2	1	1				1	5		5
	転 倒	80	133	22	70	21	12	17	355	351	4
	はさまれ・ 巻き込まれ	124	231	47	121	27	23	16	589	576	13
	切れ・こすれ	51	113	1 26	82	13	10	11	1 306	2 337	-1 -31
	動作の反動・ 無理な動作	31	64	5	45	5	10	3	163	152	11
起因物別	建設機械等	63	175	24	105	15	18	9	409	374	35
	食品加工用機械	5	10	1 2	1 5	5	2	4	2 33		2 5
	トラック	5	17		3	4	2	1	32	46	-14
外国人の災害	1	64	9	1 51	6	7	3	3 178		3 3	
建設公共工事の災害	38	9	4	5	3	4	5	2 40	2 30	2 10	

- 注 1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。
 4 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

令和5年 死亡災害事例

令和6年2月
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 18時頃 30～49人	60歳代 教員	校内の階段踊り場に倒れていたところを発見された。	その他の 教育研究業	墜落、転落	階段、栈橋
2	2月 15時頃 30～49人	50歳代 作業員	町道陥没箇所の復旧作業で、路盤のアスファルト等を掘削中、護岸ブロック積擁壁裏の地盤が浸食されていたため、擁壁が町道側に傾き、近くにいた被災者の下半身が擁壁と地山の間にはさまれた。	道路建設工事業	崩壊、倒壊	建築物、構築物
3	2月 0時頃 100～299人	40歳代 運転者	県外の荷主先敷地内でフォークリフトを使用してトラックから荷降ろし中、荷台の状況を確認するため、フォークリフトから降りてトラックとの間にいたところ、フォークリフトが逸走してはさまれた。	一般貨物自動車 運送業	はさまれ・ 巻き込まれ	フォークリフト
4	3月 16時頃 1～9人	20歳代 運転者	建築物の基礎工事中、丁張（木杭）を取除くため、ドラグショベルの作業半径内に立ち入ったところ、旋回したドラグショベルのバケット部分に激突された。	鉄骨・鉄筋 コンクリート造 家屋建築工事業	激突され	掘削用機械
5	3月 14時頃 10～29人	60歳代 作業員	杉の木（胸高直径45cm、樹高21m）を同僚が伐採したがかかり木となり、重機でかかり木を牽引処理する作業中、かかり木が倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等
6	3月 16時頃 1～9人	40歳代 作業員	太陽光パネルを高さ約3mの架台に設置するため、パネルを入れたラックをトラクターショベル（バケットをフォークに変更）で持ち上げ、ラックに脚立で上がって作業していたところ、ラックがフォークから脱落すると同時に墜落し、被災者の上にパネルが落下した。	機械器具 設置工事業	墜落、転落	整地・運搬・ 積み込み用機械
7	3月 15時頃 1～9人	50歳代 作業員	配水場改修工事でアンカーボルトの削孔を行うため、深さ5mのマンホール内に発電機（内燃機関）を設置し、使用していたところ、一酸化炭素中毒になった。（1人死亡、3人休業）	上下水道工事業	有害物等との接触	原動機
8	5月 10時頃 10～29人	60歳代 作業員	事業場敷地内の擁壁の上にフェンスを設置するための基礎工事中、約5m下の地面に転落した。	その他の 土木工事業	墜落、転落	作業床、歩み板
9	6月 9時頃 100～299人	50歳代 作業員	工場内の機械設備（重量約1t）を移動させる際、機械を平台車に載せ、フォークリフトで牽引していたところ、機械が傾き、補助作業を行っていた被災者が機械と壁の間にはさまれた。	プラスチック製品 製造業	崩壊・倒壊	人力運搬機
10	7月 16時頃 1～9人	20歳代 作業員	12階建てマンションの修繕工事に使用したクサビ緊結式足場の解体中、足場作業用リフトに足場材を積み込むため、手すりを外しておいたところ、その開口部から約17m下の地面に墜落した。	鉄骨・鉄筋 コンクリート造 家屋建築工事業	墜落、転落	足場
11	8月 9時頃 100～299人	40歳代 販売店員	所属店舗内の従業員専用階段前の通路で倒れているところを発見された。	その他の小売業	その他	その他の起因物
12	9月 12時頃 10～29人	40歳代 作業員	出張先の事業場にある変電設備の調査のため、キュービクル内部の変圧器の銘板を確認していたところ、充電部分に接触して感電した。	その他の事業	感電	電力設備
13	11月 8時頃 1～9人	40歳代 運転者	護岸ブロック積擁壁の裏込め材の運搬を担当していた被災者が、護岸天端から約4m下の河床基礎コンクリート部に墜落した。	河川土木工事	墜落、転落	その他の仮設物、 建築物、構築物等
14	12月 4時頃 1～9人	40歳代 運転者	トラックにて建築資材納品のため、関越自動車道の走行車線を走行中、後方から大型トラックに追突され、追越し車線上で停車したところをトレーラーに追突された。	その他の 建築工事業	交通事故	トラック
15	12月 2時頃 30～49人	40歳代 運転者	北関東自動車道を走行中、車両が故障したため、車両を路肩に寄せ、応援に来てトラックに荷を積替えていたところ、故障した車両に後方からトレーラーが追突。その際、応援に来て積替え作業をしていた被災者が、追突された故障車と壁高欄の間にはさまれた。	一般貨物自動車 運送業	交通事故	トラック
16	12月 16時頃 10～29人	50歳代 運転者	工事現場の廃材をトラックに積み帰社途中、県道の下り左カーブを曲がり切れずにブロック塀に衝突し、運転手が死亡し、同乗者1名が負傷した。	その他の 建築工事業	交通事故	トラック
17	12月 17時頃 10～29人	40歳代 作業員	帰宅するため、職場の敷地内を自家用車で走行中、外灯に正面衝突した。	火葬業	激突	乗用車、バス、 バイク

注)記述内容は上記期日時点の情報を取りまとめたものであり、今後、変更になる可能性があります。